

# まるてん。——A to Zで巡るポスター表現

2017年11月13日[月]–12月21日[木] | 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

開館時間：10:00–17:00[入館は16:30まで] | 休館：日曜日/祝日

入館料：一般200円/大学生150円[高校生以下無料/京都・大学ミュージアム連携所属大学の学生・院生は学生証の提示により無料で入場できます。]

「まる」という要素はその幾何学的形状のため、ポスターのデザインにおいて様々な役割を与えられてきました。そんな「まる」の多様性を様々な切り口で直感的に理解できるよう、女性らしさ(FEMININE)や渦(VOLTEX)などの要素をキーワードとしてとりあげ、1960年代から90年代までの20作品ほどを展示します。

里見宗次や福田繁雄などの有名デザイナーらが、どのように「まる」を用い表現したのかを、展覧会を通じて感じていただければ幸いです。



会期 11月13日[月]~12月21日[木] 時間 10時~17時 [入館は16時半まで]

会場 京都工芸纖維大学美術工芸資料館 休館 日曜日／祝日  
入館料 一般 200円／大学生150円 [高校生以下無料]

京都工芸纖維大学の学生は学生証の提示により無料で入場できます

# お洒落の オースター からみる 昭和世界

# 世紀ト向か

昭和初期のお酒のポスターは

色鮮やかに刷り上げられており、

単に広告としても役割だけでなく、

芸術品として鑑賞されていました。

当時から収集の対象となっていました。

そんな芸術品としても愛されたポスターは、

昭和を感じる一つの作品と言えるでしょう。

昔懐かしい雰囲気を味わつてもらいま

お酒のポスターから大衆文化の変化を感じてもらえるよう、

キリンビールやサッポロビール、月桂冠など、

現代でもよく聞く酒造メーカーのポスターを中心に、

十一点の作品を紹介します。